

情報モラル教育実践授業報告書 4

| | |
|--------|---|
| 対象学年 | 高等部 1・2・3年（教育課程ⅠⅡⅢ） |
| 領域 | 社会と情報, 情報 |
| 指導項目 | 情報モラル |
| 実践のねらい | ネットワークでのコミュニケーションにおけるトラブルについて, 人との感じ方の違いを体験し, 自覚を促す |

| | | | |
|--|----------------|------|---|
| 情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html) | | | |
| 指導分野 | 情報社会の倫理 | | |
| コード | a 2-1 b 3-1 | 指導事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手への影響を考えて行動する ・情報にも, 自他の権利があることを知り, 尊重する |

| | |
|------------------------------|--|
| 授業前の生徒の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークでのコミュニケーション等のトラブルについて, 知識はあるが経験不足であったり, 自覚がなかったりといった様子が見られる。 ・相手の状況を考えたり, 相手の気持ちを考えたりすることが苦手な生徒がいる。 ・実際のトラブルは少ないが, トラブルになりかねない状況がある。 |
| 生徒の心理的成長過程に応じた指導の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせて, 目標値を設定して扱う。 ・生徒目線での気付きを大切に, まとめる。 |
| 期待される生徒の変容 (ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・他者との意見の違いから自分と他者との基準は異なることを感じる。 ・ネットワークにおけるコミュニケーションの特性を理解する。 ・他者の意見を聞き, 考えを広げる。 ・他者との違いを知り, トラブルを回避する方法を考えることができる。 |
| 生徒の変容を促すための授業の工夫 (ポイント) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境を整え, 生徒同士話し合い, 協議しやすい環境をつくる。 ・意見が比較しやすいようにタブレット端末と大型テレビを活用した。 ・ロイロノート・スクール (株式会社 LoiLo, 以下「ロイロノート」と表記) を活用し, 結果のやりとりが瞬時にできるようにした。 ・生徒から出た意見を活用しまとめることで当事者意識をもつことを促す。 |
| 利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNSノート情報モラル編 (LINE 株式会社) ・動画教材等授業資料 (東京書籍 情報社会のモラル&リテラシー) http://taiken.tokyo-shoseki.co.jp/taiken/jml/index.html ・ロイロノート ・日本教育工学会論文誌 Vol. 39, 89-92, 2015 「トラブルにつながる行動の自覚を促す情報モラル授業の開発と評価」 ～中学生のネットワークにおけるコミュニケーションに着目して～ |

事前・事後アンケート

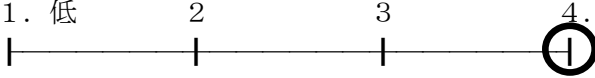
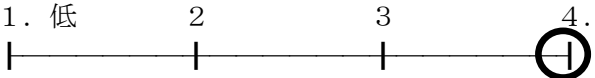
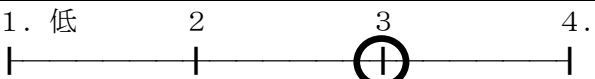
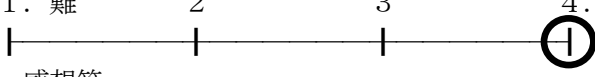
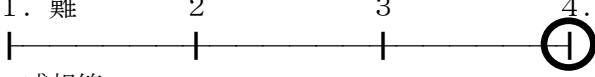
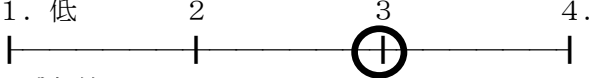
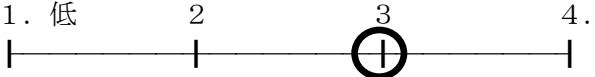
| | | 事前 | 事後 |
|---------------------------|---|----------------------------|----|
| 私は、友達の嫌がることをしたことがあると思う。 | 1 | 0 | 0 |
| | 2 | 1 | 3 |
| | 3 | 4 | 7 |
| | 4 | 15 | 10 |
| 変容 | | 少しあるが2名、あまりないが3名増え変容がみられた | |
| 私は、友達の悪口を書いたことがあると思う。 | 1 | 0 | 0 |
| | 2 | 1 | 1 |
| | 3 | 2 | 5 |
| | 4 | 17 | 14 |
| 変容 | | あまりないが3名増え変容がみられた | |
| 私は、遅い時間に友達に連絡をしたことがあると思う。 | 1 | 1 | 2 |
| | 2 | 6 | 6 |
| | 3 | 5 | 7 |
| | 4 | 8 | 5 |
| 変容 | | とてもあるが1名、あまりないが2名増え変容がみられた | |

(1 : とてもある 2 : 少しある 3 : あまりない 4 : 全くない)

<感想>

- ・自分の思い違いでけんかしないように気を付けたい。
- ・相手の気持ちを考えてメッセージを送ることに気を付けたい。
- ・情報モラルの勉強をして、注意しなければいけないことがたくさんあるのだなと思いました。
- ・これからは相手の気持ちやメッセージを送る時間を考えて、SNSでのやりとりをしていきたい。
- ・ロイロノートを使うことで、他の人と書いたことを共有できるのは便利だと思いました。

情報モラル教育の授業実践評価

| | | |
|--|----------------------|---|
| 生徒について | 生徒の 興味関心の度合い | <p style="text-align: center;">1. 低 2 3 4. 高</p>  <p>理由・感想等 お互いの意見に対し、理由を添えて積極的に伝え合い、自然に議論が始まる様子が多く見られた。</p> |
| | 生徒の理解度 | <p style="text-align: center;">1. 低 2 3 4. 高</p>  <p>理由・感想等 人の感じ方に対する違いについて、実感することができていた。自分がふだん相手に対して嫌なことをしていないか考えるよいきっかけになった。</p> |
| | 生徒の 変容の度合い | <p style="text-align: center;">1. 低 2 3 4. 高</p>  <p>理由・感想等 事前事後アンケートで全体を振り返ることで、相手のことを考えた回答結果に変化する様子が見られた。</p> |
| 授業について | 事前準備の難易度 | <p style="text-align: center;">1. 難 2 3 4. 易</p>  <p>理由・感想等 教材はサイトにも掲載されているので、準備は簡単。ロイロノートを今回利用したが、紙で取り組んでも容易にできる。</p> |
| | 指導者にとっての 授業展開の難易度 | <p style="text-align: center;">1. 難 2 3 4. 易</p>  <p>理由・感想等 最初のアンケート回答から、グループワークによる意見交換を通して、自分の回答をどこまで振り返えられるかがポイント。</p> |
| | 授業の「ねらい」の 達成度 | <p style="text-align: center;">1. 低 2 3 4. 高</p>  <p>理由・感想等 ネットワークにおける特性は伝わりにくかったが、生徒が積極的に話し合うことができ、考えを広げることができた。</p> |
| | 指導方法の 効果の度合い | <p style="text-align: center;">1. 低 2 3 4. 高</p>  <p>理由・感想等 人との意見の違いを感じる上ではとても効果的である。実際の行動にどこまでつなげられたかは分からない。</p> |
| <p><実践の感想及び反省点等></p> <p>他者に意見を押し付ける場面も見られたので、話し合いの方向性に注意するようにした。スマホやSNSの利用状況によっても、されて嫌なことに対する境界線は大きく違いがあると感じた。グループワークで使うカードの内容がどれも嫌でないという生徒が多かったグループもあったので、生徒の実態に合わせて変えるとよいと思った。</p> | | |

情報モラル教育の授業実践例

| 配当時間 | 学習のすすめ方 | 指導のポイント | | | | | | |
|------------------------|---|---|------------------|------------------------|------------------------|---------------------|---------|--|
| 導入 5分 | <ol style="list-style-type: none"> 1 事前に動画を視聴し、アンケートに答えておく。 2 ロイロノート・スクールの自分のアカウントにログインし、「情報」フォルダにアクセスしておく。 3 自分が友達から連絡があると、「遅いな」と感じる時間をグループ内で答え、共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・正しくログインできたか確認する。 ・人によって遅いと感じる時間は違うということを確認できるようにする。 | | | | | | |
| 展開 20分 | <ol style="list-style-type: none"> 4 ①言われて嫌なことは同じ？ <ul style="list-style-type: none"> ・個人でカード教材の中から友達から言われて最も嫌だと感じる言葉を選び、選んだ理由をロイロノートのカードに記入する。 ・記入したカードは提出箱に提出する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まじめだね</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おとなしいね</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おもしろいね</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">個性的だね</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">マイペースだね</td> </tr> </table> </div> 5 選んだカードと理由についてグループ内で発表し、共有する。 6 他者の意見を聞き、感じたことを記入し、提出箱に提出する。 7 ネットワークにおけるコミュニケーションの特性について説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>「ネットでは文字だけで言葉を伝えることが多いので、感情が上手に伝わらず、『誤解』が生じやすい」ということを押さえる。</p> </div> | まじめだね | おとなしいね | おもしろいね | 個性的だね | | マイペースだね | <ul style="list-style-type: none"> ・記入は手書きでも入力でも構わないことを伝える。 ・全員が記入し終わるまで他者の記入したものが見えないようにする。 ・他者の意見が閲覧できるように表示する。 ・生徒から出た意見を中心にまとめる |
| まじめだね | おとなしいね | おもしろいね | | | | | | |
| 個性的だね | | マイペースだね | | | | | | |
| 展開 20分 | <ol style="list-style-type: none"> 8 ②されて嫌なことは同じ？ <ul style="list-style-type: none"> ・個人でカード教材の中から友達からされて嫌だと感じることを順番にロイロノート上でカードを並べ、「絶対に嫌だ」と感じる境界線を示す。 ・記入したカードは提出箱に提出する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">すぐに返事がない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なかなか会話が 終わらない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">知らないところで 自分の話題が出ている</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">話をしている時にケータイ・スマホを触っている</td> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分が一緒に写っている写真を公開される</td> </tr> </table> </div> 9 並べたカードと並べた理由をグループ内で発表し、共有する。 10 他者の意見を聞き、①②の内容を踏まえて、ネット上でやりとりする場合はどのようなことに気を付けるべきか話し合う。 | すぐに返事がない | なかなか会話が 終わらない | 知らないところで 自分の話題が出ている | 話をしている時にケータイ・スマホを触っている | 自分が一緒に写っている写真を公開される | | <ul style="list-style-type: none"> ・記入は手書きでも入力でも構わないことを伝える。 ・全員が記入し終わるまで他者の記入したものが見えないようにする。 ・他者の意見が閲覧できるように表示する。 ・ロイロノートのシンキングツールを利用してまとめる。 |
| すぐに返事がない | なかなか会話が 終わらない | 知らないところで 自分の話題が出ている | | | | | | |
| 話をしている時にケータイ・スマホを触っている | 自分が一緒に写っている写真を公開される | | | | | | | |

| | | | |
|-------------|--------|--|--|
| ま と め | 5 分 | <p>11 本時の学習について以下の内容のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「嫌な言葉」や「嫌なこと」は人によってちがう。 ・「文字」だけで伝えると、感情が伝わらないので、「誤解」が生じやすい。 ・ネット上では相手の表情や感情が分からないので、相手が「嫌がっていること」に気付きにくい。 ・ネット上でのコミュニケーションでは、「相手がどう感じるか」を想像しながら、自分の気持ちを上手に伝える。 ・ふだんの会話の中で自分の基準を相手に押しつけていることはないか見直す。 <p>12 本時の内容を受けて、事後アンケートに答える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の取組で生徒から出た意見を中心に、まとめを行う。 ・ねらいとして不足している部分には助言を行う。 |
|-------------|--------|--|--|

情報モラル教育を広げるための方策と課題

| | |
|------------------|---|
| 情報モラル教育を広げるための実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業実践の様子を参観してもらう。 ・「ロイロノート・スクール」アプリの使用事例と合わせて職員に紹介する。 ・幾つかの学習グループ（教育課程ⅠⅡⅢ）で実践を行う。 ・校内研究会で報告、紹介するなど情報提供を行う。 |
| 情報モラル教育を広げるための課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の中に位置付けさまざまなグループで取り組んでもらうなど、多くの先生方の意識を高める。 ・特別支援学校（特に肢体不自由特別支援学校）で話し合える対象生徒が少ない。他校や他の学習グループと連携して授業展開ができるとよい。 |